
カーテンの向こう側

micky

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カーテンの向こう側

【Nコード】

N1278B

【作者名】

m i c k y

【あらすじ】

新一は小説に読みふけり、蘭との約束を忘れてしまいます。何気ない日常の一幕。

（前書き）

あまり上手く書けないな・・・。

暗い洋館。

傍から見たらお化け屋敷。確かに人の住んでいる気配はしない。朝なのに閉め切ったカーテン。

その住人は現在、書斎にこもって推理小説を夢中で読んでいる。

「新一！」

蘭はあまり使用されていない部屋の掃除に追われていた。

「ちよつと、新一も手伝ってよ！」

無我夢中で読んでいる彼に何を言っても梃子でも動かないだろう。

「・・・もう・・・」

書斎の掃除頼んだ自分が悪いのか。

小さくため息をつき、

諦めてまた掃除の続きを始める。

それから何時間経っただろう。

新一はお気に入りの書斎の椅子でウーンと背伸びをした。

「やっと読み終わったぜ。やっぱり俺の推理とほぼ一緒だったな」

満足感に浸りながら本を元の場所へと戻す。

「これ・・・でよし！」

（今は何時だ？）

久しぶりに事件もなくゆつくりと過ごした時間。
時計を見ると

「もう、3時か」

そつえばなんとなくお腹も空いたような。

書斎から出るといい匂いがする。

キッチンにいくとコーヒーが入れてあった。

「・・・なんでだ・・・っけ？」

その時フワツと窓辺のカーテンが揺れて、白い羽根が一枚部屋へ舞い込んできた。

「！」

そうだった！

蘭と掃除をしていたんだ！

読んでなかった本があつて、つい読みふけてしまったんだ。

「蘭！」

呼んでも返事がない。

一つ一つ部屋を見るが何処にもいない。

2階へと駆け上り鍵のかかってない部屋以外は全部確認した。

「蘭・・・」

怒って帰ったのだろうか。

携帯電話を取りだし蘭にかけるも出ない。

「参ったな・・・」

本当なら午前中は家の掃除をして午後から映画に行く予定だった。とうに上映時間は過ぎている。

「やばい・・・！」

急いで身支度をして居間を通り過ぎようとした時、またカーテンが揺らいだ。

鍵を閉めに窓に近寄ると、庭先に彼女の姿が。

声をかけようとしたが、花の手入れをしている彼女が一枚の絵のようで見惚れてしまった。

「・・・蘭」

声が小さいのか彼女に声が届かない。

「蘭！」

急に大声をだされ、慌てて振り向く

「びつくりした！新一？」

ゆつくりと新一の元へと歩いてくる。

「もう読み終わった？」

「おお。今やっとな。・・・蘭、ゴメン・・・映画の時間が」

その言葉に下を向いた彼女に新一は申し訳ない気分です。いっばいだつた。

「新一。この花やつと咲いたんだよ」

そこには付き合った頃、デートの時に買って一緒に植えた種が花を咲かせていた。

「映画に行つてたらきつと咲いてる事に気づかなかったよ」

「・・・うん」

「映画は今度でいいよ。新一のおごりで！ね！」

（ハハ・・・そうくるか。でも）

「いつ、行こうか」

「じゃあ、来週でもいい？」

嬉しそうな蘭の顔。

（また、2人で過ごせる時間ができるし）

「いいよ。空けとく」

カーテンの向こうには

眩しい光と君の笑顔。

俺、さっき思った事があるんだ。

内緒だけど、カーテンと白い羽根が君を連想させたんだ。
天使を思い出してね。

（後書き）

蘭「新一と約束しても推理小説読むと、いつもこうなっちゃうんだよね」

m i c k y「一緒に読めば？」

蘭「推理オタクがうつるから、絶対にイ・ヤ！」

m i c k y「そうですか」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1278b/>

カーテンの向こう側

2010年11月27日16時59分発行